

2019年(平成31年)度第1回(通算第7回) 学校再編検討会議

資料

資料1	校区別 子ども人数予測	・・・1
資料2	2019年(平成31年)度児童生徒数及び学校規模の試案	・・・2
資料3	喫緊の課題校について	・・・3

校区別 子ども人数予測

1 志染中学校

志染中	中1	中2	中3	合計
2019(H31)	19	16	12	47 (46)
2020(H32)	7	19	16	42
2021(H33)	15	7	19	41
2022(H34)	10	15	7	32
2023(H35)	12	10	15	37
2023(H36)	10	12	10	32
2023(H37)	6	10	12	28

2 星陽中学校

星陽中	中1	中2	中3	合計
2019(H31)	18	23	15	56 (50)
2020(H32)	19	18	23	60
2021(H33)	21	19	18	58
2022(H34)	20	21	19	60
2023(H35)	25	20	21	66
2023(H36)	20	25	20	65
2023(H37)	23	20	25	68

・数字は、各校区に住んでいる住民基本台帳上の子ども
の人数
・()内の数字は、2019年度、各学校に在籍している
児童生徒数
単位 (人)

3 吉川4小学校

中吉川小	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
2019(H31)	6	13	11	15	16	15	76 (74)
2020(H32)	13	6	13	11	15	16	74
2021(H33)	11	13	6	13	11	15	69
2022(H34)	8	11	13	6	13	11	62
2023(H35)	10	8	11	13	6	13	61
2023(H36)	10	10	8	11	13	6	58

東吉川小	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
2019(H31)	10	9	6	16	11	11	63 (63)
2020(H32)	9	10	9	6	16	11	61
2021(H33)	12	9	10	9	6	16	62
2022(H34)	8	12	9	10	9	6	54
2023(H35)	7	8	12	9	10	9	55
2023(H36)	9	7	8	12	9	10	55

上吉川小	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
2019(H31)	6	9	4	6	4	7	36 (32)
2020(H32)	7	6	9	4	6	4	36
2021(H33)	6	7	6	9	4	6	38
2022(H34)	8	6	7	6	9	4	40
2023(H35)	3	8	6	7	6	9	39
2023(H36)	6	3	8	6	7	6	36

みなぎ台小	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
2019(H31)	6	10	10	7	15	11	59 (49)
2020(H32)	8	6	10	10	7	15	56
2021(H33)	15	8	6	10	10	7	56
2022(H34)	4	15	8	6	10	10	53
2023(H35)	8	4	15	8	6	10	51
2023(H36)	10	8	4	15	8	6	51

住民基本台帳より (2019.4.1現在)

2019年(平成31年)度 児童生徒数及び学校規模の試算

資料2

1 志染中学校

(1) 緑が丘中学校と統合した場合

生徒数(人)	1年	2年	3年	合計
志染中	17	18	11	46
緑が丘中	136	112	139	387
合計	153	130	150	433

学級数予測	4	4	4	12
-------	---	---	---	----

(2) 自由が丘中学校と統合した場合

生徒数(人)	1年	2年	3年	合計
志染中	17	18	11	46
自由が丘中	123	121	142	386
合計	140	139	153	432

学級数予測	4	4	4	12
-------	---	---	---	----

2 星陽中学校

(1) 三木中学校と統合した場合

生徒数(人)	1年	2年	3年	合計
星陽中	16	20	14	50
三木中	130	118	108	356
合計	146	138	122	406

学級数予測	4	4	4	12
-------	---	---	---	----

(3) 星陽中を分割して統合した場合

生徒数(人)	1年	2年	3年	合計
星陽中(豊地)	10	12	7	29
三木中	130	118	108	356
合計	140	130	115	385

学級数予測	4	4	3	11
-------	---	---	---	----

(2) 吉川中学校と統合した場合

生徒数(人)	1年	2年	3年	合計
星陽中	16	20	14	50
吉川中	35	32	43	110
合計	51	52	57	160

学級数予測	2	2	2	6
-------	---	---	---	---

生徒数(人)	1年	2年	3年	合計
星陽中(口吉川)	6	8	7	21
吉川中	35	32	43	110
合計	41	40	50	131

学級数予測	2	1	2	5
-------	---	---	---	---

3 吉川4小学校

⇔ は複式学級を示す

児童数(人)	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
中吉川小	3	14	9	14	15	14	69
東吉川小	10	9	6	15	10	11	61
上吉川小	3	9 ↔	3	6 ↔	4	6	31
みなぎ台小	5	8	8 ↔	5	12	10	48
合計	21	40	26	40	41	41	209

学級数予測	1	2	1	2	2	2	10
-------	---	---	---	---	---	---	----

※通常学級の学級数を算出するため、特別支援学級の児童生徒数は除いています。

(平成31年4月11現在 児童生徒数による。)

地域での意見・課題等

課題の検討

学校の再編について

- 保護者の意見としては、学校を残してほしいという意見はあるが、教育上の制限や多くの人と関わる機会が必要のため、中学校の再編を望む声が多い。
- 地域の意見としては、学校を残す意見と再編を支持する意見の両方が混在している。
- 地域振興策など、これからの地域のあり方をも併せて考える必要がある。
- 性急な統合は賛成できない。スケジュールに示してあった、平成32年度からでは早すぎる。

通学方法、準備等

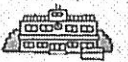
- 通学は、安全を第一に考えることが大切である。徒歩となるのか、自転車通学はできるのか、スクールバスは運行されるのか、保護者負担はあるのかなどを示してほしい。
- 統合前の交流や合同行事などを行う準備期間が、1年から2年は必要である。再編前後で、子どもの心身のケアがなされ、安心して学校生活が送れるようにしてほしい。

その他

- 小中一貫校、義務教育学校のことがよく分からない。
- PTA活動をどのようにしていくのか。
- 学校再編の進捗状況について情報が伝わってこない。
- 制服、靴、部活動のユニフォームなど、統合時にどうなるのか。

- 志染中学校の統合校について
⇒緑が丘中、自由が丘中のいずれかで決定する。
- 統合時期について
⇒今年度のできるだけ早い時期に統合時期を決定する。
- 統合が決定してからの準備期間について
⇒概ね、1年から2年をかけて、統合に向けての準備を行う。
- 通学方法について
⇒学校からの距離や道路状況等を考慮し、一定の基準を設け、徒歩、自転車、スクールバス等の方法を決定する。
- 統合前後に必要な子どもへの配慮について
⇒統合前後の不安を把握し、解消に向けて必要な配慮を行う。
⇒志染中学校の状況をよく知る教職員や心のケアを担当する教職員を配置する。

学校再編に係る実施方針案の作成



地域での意見・課題等

課題の検討

学校の統合について

通学方法、準備等

その他

学校再編に係る実施方針案の作成

- 中学校の再編については、教育環境から判断し、保護者や地域の方の多くが再編はやむを得ないという考えである。
- 星陽中は2つの地域から成り立っており、2つの地域の統合先が別々の学校になってもいた仕方ないと考えている。
- 細川町の多くの方は、生活圏が三木市街方面であるため、統合するならば、三木中が良いと考える人が多い。
- 新たな学校（小中一貫校等）の設置場所を示してほしいという希望がある。
- 口吉川町は、三木方面、吉川方面の選択肢について、地域で協議を進めている状況である。

- 学校を統合する場合は、校区が広がるため、スクールバス等の措置を希望している。その際には、子どもの教育活動に制限がなく、保護者負担が少ない方法を望む。
- 統合に際しては、大きな環境の変化となるため、子どもの心身のケアを十分行う必要がある。不安の解消に向け、十分に時間をかけた準備も必要になる。

- 跡地利用については、地域の特色を生かしたものにしてほしい。また、企業誘致や宅地開発など、まちの活性化に繋がるようにしてほしい。
- 小中一貫校や義務教育学校の良さが共有されておらず、今の段階では、小中一貫校等が支持されているわけではない。

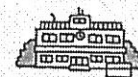
- 星陽中学校の統合校について
⇒①吉川中と統合、②三木中と統合、③口吉川・豊地小校区を別々にして統合、この3案の中から、地域・保護者の意見を踏まえて決定する。

- 統合時期について
⇒今年度のできるだけ早い時期に統合時期を決定する。

- 統合が決定してからの準備期間について
⇒概ね、1年から2年をかけて、統合に向けての準備を行う。

- 通学方法について
⇒学校からの距離や道路状況等を考慮し、一定の基準を設け、自転車、スクールバス等の方法を決定する。

- 統合前後に必要な子どもへの配慮について
⇒統合前後の不安を把握し、解消に向けて必要な配慮を行う。
⇒星陽中学校の状況をよく知る教職員や心のケアを担当する教職員を配置する。



地域での意見・課題等

学校の統合について

- 学校を残してほしいという意見はあるが、保護者の意見としては、「色々な条件から判断し、統合も仕方なし」という思いを持っている。ただし、校区により、その思いには偏りがある。
- 各学年複数の学級設置や少人数授業（1学級を2つに分けて授業を行う。）に対応できる教室数を確保するため、みなぎ台小学校に集約することが考えられる。
- 児童数の減少が著しく、複式学級のある学校がある。

通学方法、準備等

- 通学方法は、徒歩かバスとなるが、通学時間は、30分以内を望む声があり、バスのルートや便数は工夫を要する。みなぎ台小学校周辺の登校時の見守りが必要である。
- 吉川の4小学校は、これまで修学旅行、自然学校や人権学習などの交流を続けてきているが、指導方法、行事、PTA活動、地域の見守りなど、調整すべきことは多い。

その他

- 今の学校の少人数による教育も評価されている。その良さを活かす必要がある。
- 子どもが増える方策や統合後の跡地利用など、まちづくりについて考える必要がある。

課題の検討

- みなぎ台小学校への集約について
⇒施設設備面からみなぎ台小学校に集約し、4小学校を統合することが望ましい。
- 統合時期について
⇒今年度のできるだけ早い時期に統合時期を決定する。
⇒小規模化が顕著な学校から先に統合する必要性があるか検討する。
- 統合が決定してからの準備期間について
⇒概ね、1年から2年をかけて、統合に向けての準備を行う。
- 通学方法について
⇒学校からの距離や道路状況等を考慮し、一定の基準を設け、徒歩、スクールバス等の方法を決定する。
- 統合前後で必要な子どもへの配慮について
⇒統合前後の不安を把握し、解消に向けて必要な配慮を行う。
⇒吉川の小学校の状況をよく知る教職員や心のケアを担当する教職員を配置する。

学校再編に係る実施方針案の作成

